

第1章 教育行財政

第1節	県教育委員会	9
第2節	市町村教育委員会	16
第3節	教育財政	17
第4節	企画・広報広聴・調査統計	19
第5節	教育関係法人	23
第6節	争訟関係	24
第7節	表彰	25
第8節	主な教育行政の動き	37

第1節 県教育委員会

1 教育委員

教育委員会を組織する委員の氏名及び任期等

(令5.10.1現在)

氏 名	職 業	任 期
島 原 俊 英	会 社 役 員	平成24.10. 9～平成28.10. 8 平成28.10. 9～令和 2.10. 8 令和 2.10. 9～令和 6.10. 8
松 山 郁 子	弁 護 士	平成28.10. 9～令和 2.10. 8 令和 2.10. 9～令和 6.10. 8
高 木 かおる	保 育 園 統 括 園 長	平成30. 4. 1～令和元.10. 9 令和元.10.10～令和 5.10. 9
木 村 志 保	放 課 後 子 ども 教 室 教 育 活 動 推 進 員	平成30.12.24～令和 4.12.23 令和 4.12.24～令和 8.12.23
柳 和 枝	元 教 員	令和3.12.24～令和7.12.23

2 委員会の会議

会議は、毎月1回定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催している。令和4年度の開催状況は、次のとおり。

(1) 会議開催回数

区分	令4年										5年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
定例	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
臨時													0	
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	

(2) 付議案件

令和4年度、12回の会議で審査した事項は、次のとおり。

令和4年度 教育委員会審議議題等

月	日	曜	議 題	
4	19	火	第 1 号	宮崎県教科用図書選定審議会への諮問について
5	25	水	第 2 号	令和5年度宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校、宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校及び宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校入学者選抜要綱の告示について
			第 3 号	県立美術館協議会委員の任命又は委嘱について
			第 4 号	宮崎県スポーツ推進審議会委員の任命又は委嘱について
			第 5 号	宮崎県文化財保護審議会委員の委嘱について
			第 6 号	教職員の懲戒処分について
			第 7 号	管理職の人事異動について
			6	27
第 9 号	令和5年度宮崎県立高等学校入学者選抜要綱の告示について			
第 10 号	県立図書館協議会委員の任命又は委嘱について			
7	21	木	第 11 号	教育職員免許の更新等に関する規則の廃止及び教育職員免許法等施行細則の改正について
			第 12 号	令和5年度宮崎県立高等学校生徒募集定員の告示について
			第 13 号	宮崎県博物館協議会委員の任命又は委嘱について
8	25	木	第 14 号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
			第 15 号	県指定文化財の指定について
			第 16 号	令和5年4月1日宮崎県教職員人事異動方針について
9	26	月	第 17 号	令和4年度宮崎県文化賞について
			第 18 号	令和4年度宮崎県教育職員表彰について
10	20	木	第 19 号	公の施設の指定管理候補者の選定について
11	15	火	第 20 号	令和4年度宮崎県社会教育功労者及び社会教育優良団体・施設表彰について
12	15	木	第 21 号	教職員の懲戒処分について
1	17	火	第 22 号	県指定文化財の指定に係る諮問について
			第 23 号	令和4年度宮崎県スポーツ栄誉賞・特別賞の受賞者について
			第 24 号	職員の人事異動について
2	15	水	第 25 号	県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について
			第 26 号	教職員の定年引上げにかかる規則の改正について
3	10	金	第 27 号	個人情報保護法の改正に伴う関係規則の一部改正について
			第 28 号	口頭により開示請求をすることができる保有個人情報の告示の廃止について
			第 29 号	令和5年4月1日付け宮崎県教育委員会事務局等組織改正に伴う規則及び訓令の改正等について
			第 30 号	県立高等学校管理運営規則等の一部を改正する規則について
			第 31 号	条件付採用職員の正式採用の可否決定について
			第 32 号	令和5年4月1日付け人事異動について

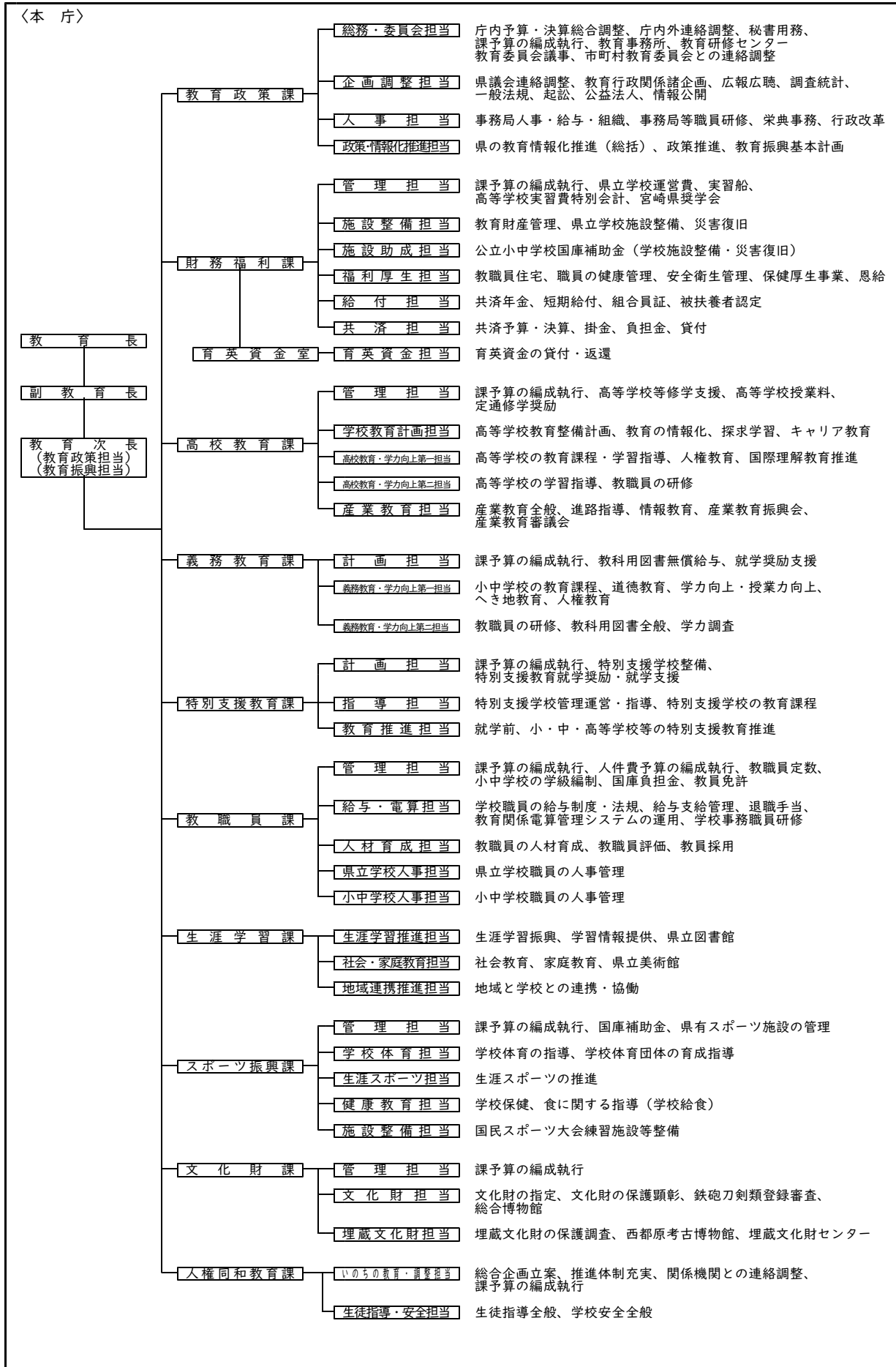
月	日	曜	臨時代理報告	
4	19	火	第 1 号	宮崎県教科用図書選定審議会委員の任命又は委嘱について
6	27	月	第 2 号	県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について
7	21	木	第 3 号	宮崎県体育館管理規則の一部改正について
11	15	火	第 4 号	県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について
12	15	木	第 5 号	県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について
2	15	水	第 6 号	令和4年度宮崎県スポーツ栄誉賞・特別賞の受賞者の変更について

3 教育委員会規則の制定・改廃（令和4年度）

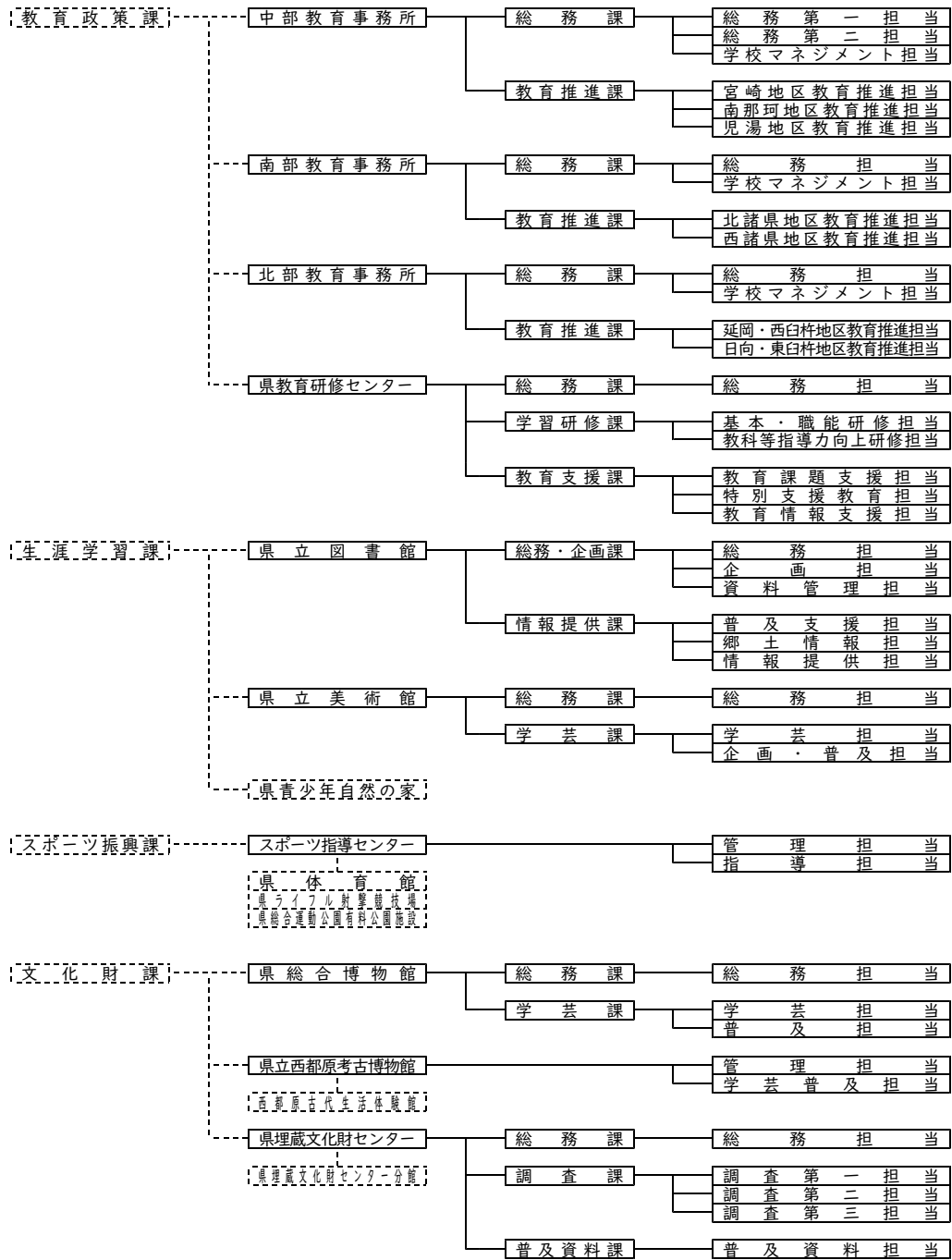
番号	規 則 名	内 容	公布年月日	施行年月日
1	新宮崎県体育館管理規則	新宮崎県体育館の設置に伴い、施設の管理運営に必要な事項を制定する。	R4.7.5	R5.8.20
2	宮崎県体育館管理規則の一部を改正する規則	教育関係の公の施設に関する条例の一部を改正する条例により、利用する「児童・生徒」に「未就学の者」が加わったことに伴い、様式の改正を行う。	R4.7.19	R4.7.19
3	教育職員免許の更新等に関する規則を廃止する規則	教育職員免許法の改正により、教員免許更新制度が廃止されたことに伴い、関係規則を廃止する。	R4.8.1	R4.8.1
4	教育職員免許法等施行細則の一部を改正する規則	教育職員免許法等の改正に伴い、単位の修得方法に関する内容及び教員免許の出願書類等に関する所要の改正を行う。	R4.8.1	R4.8.1
5	県教育委員会の所管する職員の勤務時間等に関する規則等の一部を改正する規則	定年延長制度に係る条例改正を踏まえ、所要の改正を行う。	R5.3.23	R5.4.1
6	県教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則及び宮崎県教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則の一部を改正する規則	地方公共団体の個人情報保護制度が、個人情報保護法に基づく制度に移行することに伴い、関係する規則について、所要の改正を行う。	R5.3.30	R5.4.1
7	国民体育大会及び国民スポーツ大会に係る競技力向上の推進に関する事務委任に関する規則	令和5年4月1日付け教育庁等組織改正に伴い、必要な事項を制定する。	R5.3.30	R5.4.1
8	宮崎県教育研修センター管理規則の一部を改正する規則	令和5年4月1日付け教育庁等組織改正に伴い、所要の改正を行う。	R5.3.30	R5.4.1
9	県立高等学校管理運営規則等の一部を改正する規則	定年延長制度に係る条例改正等を踏まえ、所要の改正を行う。	R5.3.30	R5.4.1
10	博物館の登録に関する規則等の一部を改正する規則	博物館法の一部を改正する法律等が施行されることに伴い、関係する規則について、所要の改正を行う。	R5.3.30	R5.4.1

4 県教育委員会事務局機構

(令5.4.1現在)



〈出先機関・学校以外の教育機関〉



職種別事務局等職員数

(令5.4.1現在)

課・かい名		副教育長	教育次長・館長等	課長(室)	所長・副館長等	課長補佐	主幹・出先課長等	副主幹・主査等	指導主事	社会教育主事	主任主事	専門主事	主任技師	技師・専門技師	専門員	小計	充て指導主事	合計
副教育長・教育次長		3														3		3
課 (室) 名	教育政策課		3	6	8	5		4	3							29		29
	財務福利課		1	6	1			2	8			1				19		19
	財務福利課室		1	1					5							7		7
	高校教育課		1	5	2	2		1	3							14	15	29
	義務教育課		1	3	2	1		1	1							9	11	20
	特別支援教育課		1	3	1			1	1							7	7	14
	教職員課		1	8	22			3	4							38		38
	生涯学習課		1	4	1	1	8									15		15
	スポーツ振興課		1	4	4	6			2	3						20	4	24
	文化財課		1	4	7					4				(3)		16		16
人権同和教育課		1	2	2	2										7	6	13	
関係団体派遣職員				3	3	4										10		10
小計		3	13	48	54	21	8	14	32	0	1	(3)	194	43	237			
教育事務所			3	14	16	2	3	2	7							47	22	69
スポーツ指導センター			1		3				1							5	2	7
教育研修センター		1	1	7	2	16	2		2							31		31
図書館		1	1	9	5		2	4	3							25		25
美術館			1	5	6			1	2				(3)			15		15
総合博物館		1	1	4	9			1	1				(3)			17		17
西都原考古博物館		1	1	2	5			1					(6)			10		10
埋蔵文化財センター			1	7	11			2	2				(6)			23		23
市町村派遣職員				5	28	53										86		86
小計		4	10	53	85	71	7	11	18	0	0	(18)	259	24	283			
合計		7	23	101	139	92	15	25	50	0	1	(21)	453	67	520			

(注) 専門員とは、埋蔵文化財・学芸員のプロパーで内数。

5 附属機関

県教育委員会では、教育行政に関して必要な事項を審議するため次のとおり附属機関を置いている。

附属機関名	委員定数	会 長 等
産業教育審議会	13人以内	休 会 中
社会教育委員会議	20人以内	議 長 井 崎 高 信 (令和5年7月27日～令和7年7月26日)
文化財保護審議会	15人以内	会 長 石 川 千 佳 子 (令和4年6月1日～令和6年5月31日)
図書館協議会	10人以内	議 長 根 岸 裕 孝 (令和4年7月1日～令和6年6月30日)
博物館協議会	20人以内	会 長 ハツ橋 寛 子 (令和4年7月30日～令和6年7月29日)
スポーツ推進審議会	20人以内	会 長 春 山 豪 志 (令和4年6月7日～令和6年6月6日)
教科用図書選定審議会	20人	会 長 立 元 真 (令和5年4月1日～令和5年8月31日)
美術館協議会	10人以内	会 長 鬼 束 雅 史 (令和4年5月26日～令和5年10月31日)
生涯学習審議会	25人以内	休 会 中
宮崎県いじめ問題対策委員会	5人	委員長 増 田 良 文 (令和4年4月1日～令和6年3月31日)

第2節 市町村教育委員会

1 設置状況

25市町村が5人制の教育委員会を設置、1村が4人制の教育委員会を設置している。

2 教育委員

教育委員は、市町村長が議会の同意を得て任命する。教育委員の年齢別・性別及び職業別の構成は、次のとおり。

年齢別・性別教育委員数

(令5.4.1)

年 齢	男	女	計	構 成 比
40 歳 未 満	0人	0人	0人	0%
40 歳 ~ 49 歳	6	13	19	18.6
50 歳 ~ 54 歳	9	10	19	18.6
55 歳 ~ 59 歳	9	4	13	12.7
60 歳 ~ 64 歳	8	11	19	18.6
65 歳 ~ 69 歳	12	4	16	15.7
70 歳 以 上	10	6	16	15.7
計	54	48	102	-

(構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。)

職業別教育委員数

(令5.4.1)

職 業	総 数	構 成 比	う ち 教 職 経 験 者 数
専 門 的 ・ 技 術 的 職 業 従 事 者	21人	20.6%	7人
管 理 的 職 業 従 事 者	13	12.7	2
農 林 漁 業 従 事 者	28	27.5	-
運 輸 ・ 通 信 従 事 者、生 産 工 程 ・ 労 務 作 業 者	3	2.9	1
事 務 従 事 者	9	8.8	2
販 売 ・ サ ー ビ ス 保 安 職 業 従 事 者	6	5.9	-
無	22	21.6	11
計	102	-	23

(構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。)

3 教育長

教育長は、市町村長が議会の同意を得て任命する。教育長の年齢別・性別構成は、次のとおり。

年齢別・性別教育長数

(令5.4.1)

年 齢	男	女	計	構 成 比
50 歳 未 満	-人	-人	-人	-%
50 ~ 54 歳	1	-	1	3.8
55 ~ 59 歳	4	-	4	15.4
60 ~ 64 歳	11	1	12	46.2
65 ~ 69 歳	8	-	8	30.8
70 歳 以 上	1	-	1	3.8
計	25	1	26	-
構 成 比	96.2%	3.8%	-	-

(構成比については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。)

4 事務局職員数

職種別事務局職員数

(令3.5.1)

区 分	指導主事	社会教育 主 事	社会教育 主 事 補	事務職員	技術職員	そ の 他	計
本 務	78人	18人	0人	516人	72人	25人	709人

職員数別教育委員会数

(令3.5.1)

区 分	101人以上	51~100人	31~50人	21~30人	10~20人	10人未満	計
教育委員会数	1	3	2	2	14	4	26

第3節 教育財政

令和5年度の県教育委員会所管の一般会計予算は、約1,051億円で前年度の当初予算と比較して約36億円、3.3%の減となっており、県予算の16.0%を占めている。また、特別会計予算は、約46億円で前年度の当初予算と比較して、約8億円、22.5%の増となっている。各課毎及び新規・改善事業の予算は次のとおり。

各課毎の予算

(▲は、マイナス) 【単位：千円】

会計	所 属	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減額	対前年度比
一 般 会 計	教 育 政 策 課	3,185,869	3,129,111	56,758	101.8%
	財 務 福 利 課	5,388,048	4,913,280	474,768	109.7%
	高 校 教 育 課	3,578,441	3,589,090	▲ 10,649	99.7%
	義 務 教 育 課	132,903	139,976	▲ 7,073	94.9%
	特別支援教育課	480,139	429,808	50,331	111.7%
	教 職 員 課	88,206,060	92,519,812	▲ 4,313,752	95.3%
	生 涯 学 習 課	705,141	685,408	19,733	102.9%
	ス ポ ー ツ 振 興 課	2,633,012	2,800,373	▲ 167,361	94.0%
	文 化 財 課	727,498	484,478	243,020	150.2%
	人権同和教育課	135,778	113,153	22,625	120.0%
	合 計	105,172,889	108,804,489	▲ 3,631,600	96.7%
特 別 会 計	財 務 福 利 課 (県立学校実習事業)	236,596	238,010	▲ 1,414	99.4%
	財 務 福 利 課 (育英資金)	4,449,753	3,588,750	861,003	124.0%
	合 計	4,686,349	3,826,760	859,589	122.5%
	総 計	109,859,238	112,631,249	▲ 2,772,011	97.5%

令和5年度当初予算 新規・改善事業等一覧

(単位：千円)

番号	課名	事業名	事業費
1	財務福利課	育英資金システム構築事業	44,880
財務福利課 計			44,880
2	高校教育課	◎みやざきキャリア教育充実事業	11,485
3	高校教育課	◎宮崎で活躍！高校生県内就職促進事業	35,573
4	高校教育課 義務教育課	◎翔け！未来の科学者育成事業	10,180
5	高校教育課	つながりはぐくむ定時制・通信制生徒支援事業	9,240
6	高校教育課	高校生みやざき文化芸術鑑賞事業	1,600
高校教育課 計			68,078
7	義務教育課	◎未来へつなげ、学びのバトン！みやざきの授業改善推進事業	22,911
8	義務教育課	◎小学校社会科副読本デジタルブック整備事業	2,497
9	義務教育課	道徳教育推進事業	1,497
10	義務教育課	循環型社会を実現する環境教育推進事業	4,243
義務教育課 計			31,148
11	特別支援教育課	◎新学びを支える「通級による指導」充実事業	9,054
特別支援教育課 計			9,054
12	教職員課	◎「みやざきで先生になろう！」推進事業	3,389
教職員課 計			3,389
13	生涯学習課	◎新置県140年宮崎県史等デジタル化事業	1,454
14	生涯学習課	◎読書の楽しさを広げる「読書県みやざき」総合推進事業	3,143
15	生涯学習課	みやざき総合美術展	7,000
16	生涯学習課	持続可能なみやざきを創る地域学校協働推進事業	8,205
17	生涯学習課	みやざきの共生社会を目指す生涯学習推進事業	7,338
生涯学習課 計			27,140
18	スポーツ振興課	◎新共生社会の実現に向けた地域スポーツ推進事業	4,998
19	スポーツ振興課	◎新食から始める健康「元気なみやざきっ子」食育推進事業	3,176
20	スポーツ振興課 義務教育課	◎新公立中学校における部活動の地域移行に向けた環境整備事業	33,253
21	スポーツ振興課	◎体育・保健体育の授業充実事業	3,372
22	スポーツ振興課	◎甲子園優勝チャレンジ事業	2,506
23	スポーツ振興課	◎「生きる力」を育む健康教育推進事業	2,038
スポーツ振興課 計			49,343
24	文化財課	◎新神楽でつなぐ次世代育成事業	7,574
25	文化財課	◎近代宮崎の出発点 西南戦争関連遺跡調査・活用事業	3,003
文化財課 計			10,577
26	人権同和教育課	◎新みやざきの「子どものいのちと人権」を守る推進事業	3,359
27	人権同和教育課	◎いじめ・不登校等対策事業	28,827
人権同和教育課 計			32,186
総 計			275,795

第4節 企画・広報広聴・調査統計

1 企画

- (1) 令和5年度教育施策の設定
教育施策は、「宮崎県総合計画2023」の分野別計画の施策体系とした。
- (2) 政策評価
宮崎県教育振興基本計画の進捗及び成果を対象として実施した。
- (3) 宮崎県教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき平成20年度から実施している。
○令和5年度実施内容（令和4年度実績）
 - ① 宮崎県教育振興基本計画の全15施策及び各施策の推進のために設定した全58の推進指標及び関連指標の状況について点検・評価を行った。
 - ② 県議会令和5年9月定例会常任委員会に報告するとともに、県教育委員会ホームページに掲載した。

2 広報等

- (1) 体制
広報事務を円滑かつ効果的に行うために「宮崎県教育委員会広報推進要綱」（平成元年9月1日制定）に基づき、広報委員を任命している。
広報委員は、庁内各課に各2人〔課長補佐を主、庶務を担当する担当リーダーを副〕、各教育事務所、スポーツ指導センター、教育研修センター、県立図書館、県立美術館、県総合博物館、県立西都原考古博物館、県埋蔵文化財センターに各1人、各県立学校に1人（事務長）を設置している。
- (2) 教育行政広報
 - ① 「みらい・みやざき まなび隊」（テレビ放送・MRT）
主な内容は、教育委員会の重点施策に沿った事業の取組や各学校・市町村教育委員会の特色ある取組の紹介、教員・児童・生徒によるお気に入りの本の紹介等。
令和5年度は、毎週土曜日の放送で計52回を予定している。放送時間は16:45～16:55（10分間）
 - ② 「のびよ！みやざきっ子」（テレビ放送・UMK）
主な内容は、教育委員会の重点施策に沿った事業の取組や各学校・市町村教育委員会の特色ある取組の紹介等。
令和5年度は、毎週日曜日の放送で計52回を予定している。放送時間は9:50～10:00（10分間）。
 - ③ 宮崎県教育委員会X（旧Twitter）（SNS）
県教育委員会等の事業や県立学校の取組について、情報を随時発信。
 - ④ YouTube教育ネットひむかチャンネル（SNS）
放送済みの教育広報番組や教育委員会からのお知らせ、県立高校紹介動画等を随時配信。
- (3) 記者会見等
「宮崎県教育庁等広報事務取扱要領」（平成元年9月1日制定）により、宮崎県政記者クラブ及びその他の社に対して記者会見、資料提供に区分して行っている。

令和4年度県教育委員会広報番組放送実績

I MRT 「みらい・みやざき まなび隊」(全52回)

月	日	放送内容
4	2 9 16 23 30	進路実現の探求！ 「みらい・みやざき まなび隊」 「進学先と開校」 「卒業生と会おう！」 「生きた学び」 「成果発表」 「卒業生と会おう！」 「生きた学び」 「成果発表」
5	7 14 21 28	えびの市立岡元小と交流 「えびの市立岡元小と交流」 「えびの市立岡元小と交流」 「えびの市立岡元小と交流」
6	4 11 18 25	個性あふれる職業 「個性あふれる職業」 「個性あふれる職業」 「個性あふれる職業」
7	2 9 16 23 30	専門職の魅力を 「専門職の魅力を」 「専門職の魅力を」 「専門職の魅力を」
8	6 13 20 27	分門をたちでル一ルづくり！ 「分門をたちでル一ルづくり！」 「分門をたちでル一ルづくり！」 「分門をたちでル一ルづくり！」
9	4 11 18 25	チャレンジ！ 「チャレンジ！」 「チャレンジ！」 「チャレンジ！」
10	1 8 15 22 29	地域活性化 「地域活性化」 「地域活性化」 「地域活性化」
11	5 12 19 26	自然の魅力を 「自然の魅力を」 「自然の魅力を」 「自然の魅力を」
12	3 10 17 24 31	科学の力で 「科学の力で」 「科学の力で」 「科学の力で」
1	7 14 21 28	郷土愛を 「郷土愛を」 「郷土愛を」 「郷土愛を」
2	4 11 18 25	楽国宮中 「楽国宮中」 「楽国宮中」 「楽国宮中」
3	4 11 18 25	みんなの未来 「みんなの未来」 「みんなの未来」 「みんなの未来」

3 調査統計

地方教育費の総括表（文部科学省総合教育政策局所管「地方教育費調査」中間報告）

令和3会計年度 教育費総額の教育分野別・財源の実績とその構成比

（宮崎県）

（単位：千円、％）

	内 訳						分野別 比率	対前年度比
	総 額	国庫補助金	県支出	市町村支出	地方費	公費組入 れ寄付金		
教育費総額	163,947,616 100.0%	22,078,229 13.4%	91,901,439 56.1%	44,431,644 27.1%	5,524,079 3.4%	12,225 0.0%	100.0%	97.2%
1. 学 校 教育費	129,235,399 100.0%	21,003,051 16.3%	85,226,086 65.9%	21,334,726 16.5%	1,667,879 1.3%	3,657 0.0%	78.8%	96.9%
幼稚園	271,624 100.0%	4,420 1.6%	4,553 1.7%	262,651 96.7%	- -	- -		68.2%
小学校	52,623,729 100.0%	10,183,679 19.4%	28,029,743 53.3%	13,433,121 25.5%	975,010 1.8%	2,176 0.0%		90.2%
中学校	32,026,353 100.0%	6,167,643 19.3%	17,646,557 55.1%	7,517,803 23.5%	692,869 2.1%	1,481 0.0%		97.1%
義務教育 学校	507,184 100.0%	105,736 20.8%	280,297 55.3%	121,151 23.9%	- -	- -		-
特別支援 学校	10,810,403 100.0%	1,652,012 15.3%	9,158,391 84.7%	- -	- -	- -		99.2%
高等学校 （全日制）	29,629,467 100.0%	2,768,281 9.3%	26,861,186 90.7%	- -	- -	- -		107.0%
高等学校 （定時制）	1,642,245 100.0%	34,057 2.1%	1,608,188 97.9%	- -	- -	- -		109.0%
高等学校 （通信制）	711,341 100.0%	26,730 3.8%	684,611 96.2%	- -	- -	- -		124.0%
中等教育 学校	613,792 100.0%	60,493 9.9%	553,299 90.1%	- -	- -	- -		107.0%
専修学校	399,261 100.0%	- -	399,261 100.0%	- -	- -	- -		89.5%
各種学校	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
2. 社会 教育費	18,746,765 100.0%	810,525 4.4%	2,984,784 15.9%	11,098,888 59.2%	3,844,000 20.5%	8,568 0.0%	11.4%	111.2%
3. 教育 行政費	15,965,452 100.0%	264,653 1.7%	3,690,569 23.1%	11,998,030 75.1%	12,200 0.1%	0 0.0%	9.8%	87.0%

（注）下段、財源別構成比。

第5節 教育関係法人

1 一般社団（財団）法人、公益社団（財団）法人

県教育委員会が所管している教育関係の法人は、23法人であり、設立目的別に分類すると下表のとおりである。

なお、都道府県知事が所管行政庁となる一般社団（財団）法人又は公益社団（財団）法人にあっても、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する事務に関連する事項を事業の目的とするものについては、県教育委員会の職員が補助執行によりその認可、認定、監督、取消等の事務を行う。

一般社団（財団）法人及び公益社団（財団）法人数

（令5.4.1）

設 立 目 的	一般社団法人	一般財団法人	公益社団法人	公益財団法人	計
育 英 奨 学	-	-	-	9	9
学 校 給 食	-	-	-	1	1
体 育 振 興	-	2	-	3	5
教育関係会館運営	-	4	-	-	4
そ の 他	1	3	-	-	4
計	1	9	-	13	23

2 公益信託

県教育委員会が所管している教育関係の公益信託は2件（交通遺児等に対する育英資金の給付を目的とするもの、学校、図書館その他の教育施設に対する図書、教育器材等の購入の助成を目的とするもの）である。

なお、公益信託ニ関スル法律第2条の規定に基づき引受許可される教育に関する公益信託のうち、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する事務に関連する事項を目的とし、かつ、その受益の範囲が1都道府県の区域内に限られているものにあつては、都道府県教育委員会が許可、認可、監督等の事務を行う。

第6節 争訟関係

I 裁判所係属事件（令5.4.1現在）

◎ 損害賠償請求事件

【概要】

高校在学中、所属していたカッター部の部活動の練習中に、副顧問の教諭が操縦していた生徒輸送のための小型実習艇から落水し、同艇のプロペラに巻き込まれ負傷した元県立高校生が、後遺障害及び精神的損害を負ったとして、県に対し損害賠償を求める訴訟を提起したものの。

第7節 表彰

宮崎県文化賞、宮崎県スポーツ栄誉賞・特別賞、教育功労者、社会教育功労者・優良団体等の表彰、地域文化功労者教育長表彰、地域による学校支援推進にかかる県教育長表彰、文部科学大臣表彰は、次のとおり。

1 宮崎県文化賞

県民の文化向上への意識の高揚をはかるため、本県文化の向上発展に関し、特に顕著な業績を有する人を顕彰した。

なお、昭和25年に創設以来、令和4年度で73回目である。

<令和4年度>（授賞式 令和4年11月8日）

部門	氏名	職業等	授賞理由
文化功労	<small>おかぼやし</small> 岡林 <small>みのる</small> 稔	宮崎大学名誉教授	永年にわたり中村地平をはじめとした地域文学の研究・顕彰や文芸同人誌「龍舌蘭」等を通じた執筆により県内の文芸活動を牽引し、後進の育成にも尽力するなど本県文化の向上に寄与した功績
文化功労	<small>たなか</small> 田中 <small>ひとし</small> 等	彫刻家	屋外彫刻の第一人者として現代彫刻を国内外へ広く発信し、県内各地の彫刻のあるまちづくりへの貢献や短歌とコラボレートした作品集の発表などにより本県文化の発展に寄与した功績

2 宮崎県スポーツ栄誉賞・特別賞（令和4年度）

（1）スポーツ栄誉賞

国際的規模の大会で優秀な成績を収め、又は優秀な記録を樹立し、本県のスポーツ振興に顕著な功績があったと認められる者（チームを含む）。

No.	氏名	功績
1	かわの まさとら 川野 将虎 (旭化成)	○陸上競技 第18回世界陸上競技選手権大会 男子35km競歩 第2位
	いけだ こうき 池田 向希 (旭化成)	○陸上競技 第18回世界陸上競技選手権大会 男子20km競歩 第2位
3	いけした こうわ 池下 航和 (環太平洋大学)	○陸上競技 U20世界選手権大会 男子4×100mリレー 優勝
	まるやま じょうしろう 丸山 城志郎 (ミキハウス)	○柔道競技 世界柔道選手権大会 男子66kg級 第2位
5	おおた ひょうが 太田 彪雅 (旭化成)	○柔道競技 世界柔道選手権大会 男女混合団体 優勝
	ながせ たかのり 永瀬 貴規 (旭化成)	○柔道競技 世界柔道選手権大会 男子81kg級 第3位
7	ふじわら そうたろう 藤原 崇太郎 (旭化成)	○柔道競技 世界柔道選手権大会 男子81kg級 第5位
	いいだ けんたろう 飯田 健太郎 (旭化成)	○柔道競技 2022年グランドスラム・ブタベスト大会 男子100kg級 優勝
9	ししめ あい 志々目 愛 (了徳寺学園職員)	○柔道競技 アジア柔道選手権大会 女子52kg級 第2位
	ひわたし ゆきほ 樋渡 千歩 (武庫川女子大学)	○カヌー競技 アジアパシフィックスプリントカップ カヤックペア(500m) 2位 mix フォア(500m) 3位

（2）スポーツ特別賞

全国規模の大会において優勝若しくは優秀な記録を樹立し、本県のスポーツ振興に顕著な功績があったと認められる者（チームを含む）及びその養成に顕著な功績があったと認められる者を表彰した。

No.	氏名	功績
1	もりやま しずほ 森山 静穂 (福岡大学)	○陸上競技 第91回日本学生陸上競技選手権大会 女子400m 女子4×100mリレー 優勝
	あいざわ あきら 相澤 晃 (旭化成)	○陸上競技 日本選手権 男子1万m 優勝
3	わきた ゆうと 脇田 夢叶 (日本体育大学)	○ボクシング競技 全日本ボクシング選手権大会 男子ウエルター級 優勝
	いわもと あんな 岩元 杏奈 (日本体育大学)	○自転車競技 第90回全日本自転車競技選手権大会ロードレース 第25回全日本選手権個人タイムトライアル 女子U23 タイムトライアル 優勝

5	としみ ほのか 年見 穂風 (鹿屋体育大学)	○自転車競技 文部科学大臣杯 第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 チームスプリント 優勝
6	はが りゅうのすけ 羽賀 龍之介 (旭化成)	○柔道競技 全日本選抜柔道選手権大会 男子100kg級 優勝
7	こが げんき 古賀 玄暉 (旭化成)	○柔道競技 全日本選抜柔道選手権大会 男子60kg級 優勝
8	たかやま りか 高山 莉加 (三井住友海上)	○柔道競技 講道館杯 全日本体重別選手権大会 女子78kg級 優勝
9	つだ ひろと 津田 博翔 (大正大学)	○カヌー競技 第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンペア(1000m) 男子カナディアンフォア(1000m) 優勝
10	あいはら あさか 相原 朝香 (仁愛会やまびこの里)	○サーフィン競技 第56回全日本サーフィン選手権大会 シニアウインメン 優勝
11	よしだ かこ 芳田 花瑚 (スーパースポーツゼビオ)	○サーフィン競技 第56回全日本サーフィン選手権大会 ウインメン 優勝
12	さきむら きみひこ 崎村 公彦 (日南テック)	○サーフィン競技 第56回全日本サーフィン選手権大会 マスター 優勝
13	みやざきけんぼくしんぐ きょうぎせんばつちーむ 宮崎県ボクシング競技選抜チーム	○ボクシング競技 第77回国民体育大会 男女総合優勝
14	みやざきけんきゅうどうきょうぎ せいねんだんしせんばつちーむ 宮崎県弓道競技 成年男子 選抜チーム	○弓道競技 第77回国民体育大会 成年男子近的競技 優勝
15	みやざきけんかぬーきょうぎ せんばつちーむ 宮崎県カヌー競技 選抜チーム	○カヌー競技 第77回国民体育大会 男女総合優勝 女子総合優勝
16	いっばんしゃだんほうじん さーふいんれんめい 一般社団法人 日本サーフィン連盟宮崎支部	○サーフィン競技 第56回全日本サーフィン選手権大会 団体 優勝

3 教育功労者表彰

教職員として長年にわたり本県教育の振興、研究又は改善につとめ、特にその功労の顕著な者又は団体を表彰することにより、その業績を広く周知するとともに本県教育の振興を図るために実施している。
 <令和4年度>

区分	表彰年月日	学校名等	表彰理由
個人	4.10.26	宮崎市立江平小学校 指導教諭 長曾我部 博	特別支援教育に精通し、多様な児童への対応について、指導教諭として職員への確かな指導や助言をしたり、校内の若手教員の勉強会を主宰したりするなど、人材育成にも尽力している。 また、宮崎大学附属中学校の特別支援教育研究協力者や県教育研修センターや他校での研修講師を務めたり、宮崎市教職員論文で1席を受賞したりしている。
		宮崎市立本郷小学校 指導教諭 中西 英	スーパーティーチャーとして、高い指導技術と優れた教育実践力を有し、県内の先生方を対象とした授業公開をはじめ、校内外の研修講師として、学力向上に関する課題についての確かな指導や助言を行っている。校内では、組織的な学力向上への取組が、全国学力調査等でその効果として表れてきている。 また、自主的にサークル活動も実施し、若手教員を育成している。
		宮崎市立宮崎中学校 教諭 永井 和代	家庭科の教員として、作品作りやお弁当作り等の指導を熱心に行い、連続して文部科学大臣賞等、数多くの賞を受賞するなど、家庭分野における技術指導について大変優れている。技術家庭科（家庭分野）の県事務局長を務めている。 また、学校経営に積極的に参画している。
		日南市立飫肥中学校 教諭 須崎 孝一	生徒指導主事として、「江戸しぐさ」からヒントを得てつくった「飫肥しぐさ」や、生徒総会で生徒の多様な考えを引き出すためにパネルディスカッションを取り入れるなど、教育活動の活性化に努めている。 これまでも長期生徒指導計画や、生活ノートを改善した「ライフスケッチブック」を作成し、それらは日南市生徒指導連絡協議会の推薦教材として日南市全ての中学校で採用されている。
		西都市立妻南小学校 教諭 留奥 洋子	主に総合的な学習の時間を軸に、地域の課題を分析し、地域の大人とともに課題解決に当たる探究学習を構築している。また、西都市の「さいと学」検討委員会の中心として「さいと学」の深化・普及に大きく貢献している。 「R3さいと学SDGsプロジェクトin妻南小ポスターセッション」は地域の大人と児童が地域の課題解決を議論する有効な場となり、今後、他校のSDGs教育の参考となり得るものである。
		高鍋町立高鍋西中学校 指導教諭 染矢 直樹	スーパーティーチャーとして、社会科指導に関する豊富な知識と優れた指導技術をもち、常に新しい教材を授業に取り込む姿は、全教科の教職員の模範となっている。 また、ICTを活用した授業にも積極的に取り組み、その成果や課題を研修会等で広め、他の教職員の授業力向上に寄与している。 そのほか、生徒会活動にも積極的に関わり、学校全体の雰囲気づくりに携わっている。
		三股町立三股中学校 教諭 横山 祥子	女子バスケットボール部の顧問として、これまで全国中学校総合体育大会に5回、九州大会に36回出場に導くなど、大変優れた指導技術をもっている。 また、指導技術のみならず、生徒への生活指導も徹底しており、学校教育活動を支える大きな存在である。 さらに、学級経営や保健体育部の職務にも尽力しており、大規模校が抱える課題を的確に把握し、コロナ禍における体育・保健行事の在り方に工夫を凝らす姿がある。

<p>三股町立三股中学校 教諭 米田 透</p>	<p>駅伝部の顧問として、これまで全国中学校駅伝競走大会に9回、九州大会に13回出場に導くなど、大変優れた指導技術をもっている。 また、部活動の指導のみならず、学年主任として生徒に対する愛情と情熱があり、自分の思いを言葉に乗せながら生徒に寄り添う指導をしている。生徒指導上の問題発生時も学年の共通理解を丁寧に行う学年経営をしている。</p>
<p>小林市立小林小学校 教諭 永久井 加代子</p>	<p>永年、通級指導教室の担当者として児童の教育に携わり、その成果を九州研究大会等で発表するなど優れた実績をもっている。 また、小林市の教育支援委員会委員として、就学予定児等にかかる実態調査や教育相談にも尽力している。エリアコーディネーターを6年間務め、児童生徒の支援計画や学校の支援体制への助言など年間90件を超える派遣業務や研修講師を務めている。</p>
<p>延岡市立岡富中学校 指導教諭 佐保 博光</p>	<p>指導教諭として、授業実践の成果を授業公開や研修会等で積極的に広め、教員の指導力向上に寄与している。 また、総合的な学習の時間を軸に、地域に根ざしたキャリア教育をとおして、主体的に考え続ける授業づくり、学級づくりに尽力している。 さらに、生徒が取材・編集する地域コミュニティ誌を主宰している。</p>
<p>高鍋高等学校 指導教諭 三浦 章子</p>	<p>国語科のスーパーティーチャーや授業改革推進リーダーとして、授業公開や実践発表を積極的に行っている。 また、公開授業のみならず、中学生を対象とした作文教室、中学校教員を対象とした研修会、資質能力育成研究会と、幅広い分野で講師や指導助言者として尽力している。 さらに、当校の探究科学科の設立に携わり、探究活動の実践手法を中学校から大学まで幅広く紹介している。</p>
<p>都城商業高等学校 教諭 藤井 健</p>	<p>男子卓球部の顧問として、これまで全国高等学校選抜卓球大会に6回、全国高校総体等に多数導くなど、大変優れた指導技術をもっている。 また、技術的指導力のみならず、人間性をどう高めていくかを常に意識し情熱をもった指導に当たっている。 さらに、県や九州の専門委員長、全国の強化委員長を務めるなど、生徒の健全育成、選手の競技力向上に力を注いでいる。</p>
<p>みやざき中央支援学校 教諭 山本 由紀</p>	<p>特別支援学校における音楽専科として、音楽を楽しみ、生涯音楽を愛し、心豊かに生きることのできる生徒の育成に尽力しており、その取組を、授業実践公開や研究大会発表などの機会をとおして広めてきている。高等学校総合文化祭合唱部門では、3年連続で「審査委員特別賞」受賞に導いている。同大会40周年記念大会では、宮崎市内の特別支援学校合同合唱団を指導し開会式で合唱を披露した。</p>
<p>みやざき中央支援学校 教諭 山口 弘高</p>	<p>昨年度、高等部普通科職業コースの試行にあたり、初のコース主任を務め、職業コースの基礎を築き、本格開始へ貢献した。 また、教務主任や学年主任としても、大規模校の組織をまとめ、職員の悩みや相談に的確な助言を行っている。生徒の指導については、実態を的確に把握し、一人ひとりの生徒に寄り添った丁寧な指導を行っている。</p>
<p>みなみのかぜ支援学校 教諭 楫山 由香</p>	<p>特別支援教育コーディネーターとして、地域の学校の児童生徒に係る相談支援に積極的に携わり、保護者の思いに寄り添った真摯な対応や、細やかな実態把握に基づく的確な助言や指導は、保護者や学校から厚い信頼を得ている。 また、特別支援教育チーフコーディネーターとして困難事例への対応や関係機関との連携により宮東地域の特別支援教育の推進に寄与している。 さらに、自身の経験を生かしながら後進育成にも熱心に取り組んでいる。</p>

		<p>スポーツ振興課 (宮崎県スポーツ協会)</p> <p>副主幹 北林 健治</p>	<p>小林工業高等学校、小林秀峰高等学校の男子ハンドボール部を、全国優勝に2回、準優勝に4回導くなど、大変優れた指導技術をもっている。</p> <p>また、その指導力が評価され、昨年開催された東京オリンピックのハンドボール男子日本代表ゴールキーパーコーチを務めるなどナショナルチームに携わる。</p>
--	--	---	--

4 社会教育関係（表彰式：令和4年12月14日）

(1) 社会教育功労者

	氏名	居住地	主な功績等
1	寺田 美穂 <small>てらだ みほ</small>	延岡市	長年、ガールスカウト宮崎県連盟の役員を歴任し、ガールスカウト活動の企画、運営、マネジメントなどに精力的に取り組み、宮崎県におけるガールスカウト活動の活性化に寄与するとともに、女性リーダーの先駆的な役割を果たしている。
2	黒木 忠 <small>くろき すなお</small>	椎葉村	社会教育委員長として椎葉村の社会教育の振興に寄与するとともに、椎葉村公民館連合会長として強いリーダーシップで公民館機能の充実のために尽力された。その他、ひえつき節保存会会長を長年務め、ボランティアによる地元小学校での民謡指導など、地域における社会教育活動は多岐にわたっている。
3	野尻 泰弘 <small>のじり やすひろ</small>	高千穂町	高千穂町社会教育委員及び北部社会教育委員連絡協議会副会長として、長きにわたり県北部の社会教育の振興に大きく寄与された。また、ボランティア講師として学習指導をされるなど、高千穂町の学習支援には欠かせない存在となっている。
4	喜田 鍼子 <small>きだ えつこ</small>	高千穂町	高千穂町公民館女性連絡協議会役員や西臼杵郡女性連絡協議会会長及び高千穂町社会教育委員として、高千穂町の社会教育の振興や男女共同参画の推進に大きく寄与している。
5	今井 泰子 <small>いまい やすこ</small>	宮崎市	ガールスカウトの指導者及び役員として、長きにわたり少女の健全育成に尽力し、リーダー達からの信頼も厚く地域活動として駅周辺の花壇の管理やスカウト共に学び発信する活動等、常に前向きに取り組んでいる。

(2) 社会教育優良団体

	団 体	市町村	会員数(人)	主な功績等
1	高千穂町立 高千穂中学校PTA	高千穂町	242	PTA役員による運営委員会や評議委員会、各専門部会の中で、事業の振り返りや今後の取組を協議し、PTAバザー等における会員の交流と親睦や「校則の見直し」「休校中の生活」に焦点を当てたPTA新聞の発行等を通して、活動の充実に努めている。
2	宮崎県立 門川高等学校PTA	門川町	312	「保護者一人一役」をモットーに3つの専門部会と家庭教育学級の4部門が連携し、文化祭や体育大会等の学校行事への参加促進やPTA新聞の発行による生徒やPTA活動の発信を通して、保護者が様々な学校教育活動に参加できるようなシステム作りを目指し活動している。
3	日本ボーイスカウト 宮崎連盟都城第1団	都城市	42	地域にも目を向けながら、盆地祭りパレード参加や市街地清掃ボランティア、令和2年からは一人住まいのお年寄り宅を中心に、地震に備え家具転倒板や家具固定を実施するなど季節や児童、生徒の発達段階にあわせて計画的に活動を行っている。

(3) 社会教育優良施設

	団 体	市町村	会員数(人)	主な功績等
	該当なし			

5 地域文化功労者教育長表彰（表彰式 令和4年12月14日）

区分	受賞者氏名・団体名	職業・経歴等
芸術文化	馬原 克久 <small>ま ほん かつ ひさ</small>	・門川こども俳句大会選者 ・門川俳句会講師 ・日向市あすなろ俳句会講師
芸術文化	岩切 邦光 <small>いわ きり くに みつ</small>	・宮崎県太鼓連合 名誉会長 ・全九州太鼓連合 会長 ・公益財団法人日本太鼓財団一級公認指導員 ・公益財団法人日本太鼓財団評議員
芸術文化	特定非営利活動法人 のべおか天下一市民 交流機構 <small>とくてい ひ えい り かつどうほうじん てん が いち し じん こうりゆう き こう</small>	・理事長 松下 宏
文化財	吉岡 喜徳 <small>よし おか き のり</small>	・元 元禄坊主踊り保存会長 ・元 新富町文化財保護審議会委員長
文化財	安在 一夫 <small>あん ざい かず お</small>	・高千穂町文化財保存調査委員 ・宮崎県文化財保護指導員（西白杵）
文化財	谷頭相撲甚句踊り 保存会 <small>たにがしらすも う じん く おど ほ ぞんかい</small>	・会長 前田 恵美子

6 「地域学校協働活動」推進に係る県教育長表彰（表彰式 令和5年2月1日）

(1) 個人

	氏名	居住地	主な功績等
1	池田 浩子 <small>いけだ ひろこ</small>	小林市	登校の見守り活動や放課後子供教室において安全・安心な居場所づくりに係る活動に20年以上取り組んでいる。
2	押川 祐子 <small>おしかわ ゆうこ</small>	高鍋町	箏曲部活動において、通常の部活動技術指導や大会等での技術・精神面に対するケアを部顧問と連携し行っている。
3	喜多 宣子 <small>きた のぶこ</small>	延岡市	放課後子供教室の協働活動支援員として、活動の充実を図るとともに、児童の活動の安全管理も的確に行っている。
4	郷谷 須磨子 <small>ごうや すまこ</small>	日南市	地域学校協働活動推進員として、学習支援や見守り活動等、学校と地域の連携活動に尽力している。

(2) 団体

	団 体	市町村	主な功績等
1	大王谷学園 地域学校協働本部	日向市	9年間を見通したグランドデザインに基づき、学校と地域のパイプ役として学校教育活動の充実に寄与するとともに、地域で活躍する人々のやりがいの向上に貢献している。
2	新田神楽保存会	新富町	保存会と地域、学校が連携して小中学生の勧誘や継承活動を実施し、後継者育成にとどまらず、地域の方々のふれあいを通して、青少年健全育成活動の役割を担っている。
3	広瀬西小校区 「遊んでいい友塾」	宮崎市	宮崎市内で唯一、学校外の施設のみで放課後子供教室を行っており、子どもたちが地域の方と楽しみながら関わり、心が豊かに育まれる環境作りに貢献している。
4	真方一区 兵児踊保存会	小林市	学校の求めに応じて永きに渡り郷土芸能を継承し、地域の子どもの成長を支えており、親子で踊る姿が見られるなど、郷土芸能の伝承及び地域の活性化につながっている。

7 文部科学大臣表彰

<令和4年度>

功労区分	受賞年月日	受賞者氏名・団体名	職業・経歴等
教育者表彰	4.9.5	押方修 高岡壯至 丸尾裕	宮崎県立宮崎大宮高等学校長 宮崎市立宮崎西中学校長 宮崎市立住吉小学校長
地方教育行政 功労者	4.10.27	甲斐眞后 田中ヨシ子	前椎葉村教育委員会教育長 前延岡市教育委員会教育委員
文部科学大臣 優秀教員表彰	5.1.17	新垣敬子 郎 肥後裕二 福松加菜 藤崎正二 梅北瑞輝 久保文乃 島津春夫 早崎聡美 長沼康孝 後藤哲也 中原重弘	宮崎市立住吉南小学校 都城市立明道小学校 えびの市立真幸小学校 宮崎県立宮崎北高等学校 宮崎県立飯野高等学校 日南市立飫肥小学校 宮崎県立佐土原高等学校 都城市立妻ヶ丘中学校 宮崎市立赤江小学校 宮崎県立みなみのかぜ支援学校 宮崎県立宮崎西高等学校
社会教育功労	4.11.2	矢野富子 土井裕子	日南市南郷地区学校支援地域本部 地域コーディネーター NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク理事長
優良PTA	4.11.18	諸塚村立荒谷小学校PTA	
	4.8.25	宮崎県立都城西高等学校保護者と教職員の会	
生涯スポーツ 功労者	4.9.8	大嶋一誠 肥後欣子 河野和久 長友恵子	一般社団法人宮崎陸上競技協会 宮崎県ソフトテニス連盟 宮崎県空手道連盟 宮崎県レクリエーション協会
生涯スポーツ 優良団体	4.9.8	南空会	
学校給食 優良学校		該当なし	
学校給食優良 共同調理場		該当なし	
学校給食功労者 (個人)		該当なし	
学校給食功労者 (団体)		該当なし	
学校保健	4.10.12	堀英晴 海田紀夫 田村俊二	学校医 学校医 学校歯科医
学校安全		該当なし	
学校安全ボラン ティア活動		該当なし	
視聴覚教育 功労者		該当なし	
地域文化功労	4.11.15	八代正輝 (八代輝霊) 興梠幸男	吟詠家 宮崎市芸術文化連盟会長 高千穂町文化財保存調査委員 高千穂森の会会長
「コミュニティ・ スクールと地 域学校協働活 動の一体的推 進」	5.2.3	次世代を担う人材育成・持続可能な五ヶ瀬町の実現に向けて (五ヶ瀬町) 「かえりたい『郷』で生きていく。」ことを目指した文化伝承の取 組～子供が椎葉をまるごと理解し、生涯にわたってかわり続けよ うとする姿を目指して～ (椎葉村)	
障害者の生涯 学習支援活動	4.12.6	新富音声訳グループ「たんぼぼ」 宮崎大学ボランティアサークル「びいだま」	

8 叙勲

<令和4年>

春秋	勲等	功労概要	氏名	主要経歴
春	瑞小	教育功労	浜口 剛士	公立高等学校長
〃	瑞双	〃	豊田 暎光	公立小学校長
〃	〃	〃	江田 正和	公立中学校長
〃	〃	〃	古川 四百里	公立中学校長
〃	〃	〃	高橋 和平	公立支援学校長
〃	〃	学校保健功労	杉田 幸雄	眼科学校医
〃	旭単	スポーツ振興功労	野村 光秋	宮崎県アーチェリー協会副会長
秋	旭小	芸術文化功労	伊藤 一彦	県立図書館名誉館長
〃	瑞小	教育功労	近藤 宏	公立高等学校長
〃	〃	〃	富山 隆志	公立高等学校長
〃	〃	〃	勝河 元春	公立高等学校長
〃	〃	〃	佐藤 則夫	公立高等学校長
〃	瑞双	〃	新名 壽男	公立小学校長
〃	〃	学校保健功労	赤須 正道	学校医

※本名簿勲等欄の名称は、下記の勲等勲章を叙賜されたことを示す略称。

瑞小～瑞宝小綬章

瑞双～瑞宝双光章

旭単～旭日単光章

旭小～旭日小綬章

9 褒章

<令和4年>

褒章の種別	功績概要	氏名
	該当なし	

第8節 主な教育行政の動き（令和4年度）

月日	行 事 名
4. 6	スーパーティーチャー委嘱状交付式
16	コレクション展「第1期コレクション展」(～7月18日、県立美術館)
23	企画展Ⅰ「西都原古墳群～特別史跡指定70年のあゆみ～」(～6月12日、西都原考古博物館)
27	県立学校初期研修実施校校長等連絡協議会
29	特別展「第42回SSP展」(～6月12日、県総合博物館)
5. 15	埋文講座第1回「都城へようこそ～都城盆地入り口の古墳時代集落～」(埋蔵文化財センター)
21	第50回宮崎県高等学校総合体育大会(～6月3日)
28	特別展「尼崎市コレクション 白髪一雄 一行為にこそ総てをかけて」(～7月3日、県立美術館)
6. 1	宮崎県いじめ問題対策連絡協議会
7. 9	特別展「モンスター水族館～深海魚とサメのひみつ～」(～9月4日、県総合博物館)
9	特別展「飛び道具の技術文化史～旧石器時代から西南戦争まで～」(～9月4日、西都原考古博物館)
13	MSECFォーラム
16	特別展「ホキ美術館名品展－写実 永遠の存在感－」(～9月7日、県立美術館)
17	埋文講座第2回「一ツ瀬川を望む中世山城と周辺の暮らし」(埋蔵文化財センター)
24	コレクション展「たのしむ美術館」(～10月30日、県立美術館)
27	全国神楽継承・振興協議会設立準備会(オンライン開催)
30	移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」門川会場(～8月28日、埋蔵文化財センター)
8. 19	宮崎県いじめ問題子供サミット(オンライン開催)
19	遺跡発掘成果展2022「再発見！1990年代調査の遺跡」(～9月4日、県立図書館・埋蔵文化財センター共催)
9. 8	「生日神楽」県無形民俗文化財指定、「日本刀制作技術」県無形文化財指定
17	特別展「若山牧水」(～10月16日、県立図書館)
23	第44回宮崎県高等学校総合文化祭(～9月30日)
10. 1	コレクション企画展「めぐりあう個性」(～10月30日、県立美術館)
8	国際交流展「古墳時代の台所革命と東アジア～美味なる“ごはん”の考古学～」(～12月1日、西都原考古博物館)
9	宮崎県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
11	全国神楽継承・振興協議会設立総会(オンライン併用)
25	移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」日之影会場(～11月13日、埋蔵文化財センター)
26	令和4年度宮崎県教育職員表彰式
11. 1	特別展「中近世の日向国」(～12月4日、県立図書館)
4	御下賜金記念産業教育功労者表彰式
5	特別展「発掘された日本列島2022」(～12月11日、県総合博物館)
6	施設公開「埋文センターで考古学体験」(埋蔵文化財センター)
10	「旅する美術館」(～11月13日、西米良村)
12	サイエンスコンクールプレゼンテーション
13	みやざき県立高校魅力展 イオンモール都城(11月20日、イオンモール宮崎・イオン延岡)
20	埋文講座第3回「山河に刻まれた西南戦争の記憶」(埋蔵文化財センター)
22	「旅する美術館」(～11月27日、西都市)
30	「五ヶ瀬の荒踊」ユネスコ無形文化遺産登録
1. 14	企画展Ⅱ「伝統(かわらぬもの)と変革(かわるもの)～宮崎の弥生文化の特質～」(～3月19日、西都原考古博物館)
14	企画展「宮崎の漁業－歴史と特色を中心に－」(～3月12日、県立図書館)
15	埋文講座第4回「時代の目安！宮崎の火山灰層とその見分け方」(埋蔵文化財センター)
17	コレクション展「第3期コレクション展」(～4月4日、県立美術館)
18	移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」宮崎会場(～1月30日、埋蔵文化財センター)
21	全国いじめ問題子供サミット(文部科学省開催)
2. 1	「地域学校協働活動」推進に係る県教育長表彰
9	産業教育振興会生徒表彰式
11	第3回みやざき総合美術展(～2月26日、県立美術館)
19	埋文講座第5回「古(いにしえ)の時を求めて」(埋蔵文化財センター)
3. 5	みやざき子ども神楽大会(下野神楽・坪谷神楽)
15	宮崎県高等学校課題研究発表大会
19	みやざきの神楽連絡協議会、みやざきの神楽の未来を考える会
22	国指定重要無形民俗文化財「米良の神楽」名称及び指定内容変更